

アピカホールから あなたに ポナンタゴン

Vol.81

2016.7月-9月

7/23 (土)



桐五重奏団のみなさん

8/21 (日)



猪俣 猛さん

音楽の話・輪・和・Wa
芸術は泥沼に咲く蓮の花

うかわ先生の
おんがく談義

■ 寄稿 村上正夫

八月二十一日開催

第135回
「猪俣猛」Jazzカルテット
With 西脇高校吹奏楽部
開館20周年記念事業

■ 寄稿 宮澤敏夫

七月二十三日開催

第134回
「桐五重奏団」
開館20周年記念事業

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

7月23日(土)

開館20周年記念事業

開館20周年記念コンサートに寄せて

宮澤 敏夫

開館20周年、おめでとうございます。私がアピカホールに関わったのは開館5周年記念事業「弘中 孝と子供たちのデュオコンサート」からですから16年になります。

初代の垣内館長と全国公立文化施設協会の総会でお目にかかったのが縁で、お手伝いをするようになりました。当時、日本演奏連盟時代の私は、文化庁外郭団体「芸術情報プラザ」の音楽部門アドバイザーをしており、全国のホール相談に乗っていました。

垣内館長から地域に密着した企画を、ということだったので弘中さんをお願いして出来た企画が「弘中孝と子供たちのデュオコンサート」でした。幸いにも地元でピアノを教えていただいている先生方の大きな協力があり、お陰様で盛況の中、今年で6回目を迎えることが出来ました。

ピアノを勉強する子供たちにとっては、常に一人でピアノと格闘（私の友人のジャズピアニスト山下洋輔さんの口癖は「ピアノを弾くということは格闘技だ」）しているわけです。

日本の音楽教育では、まずテクニックを重視する中、弘中さんと私はそんなお子さんに人とアンサンブルをすることでお互いを気遣い、呼吸を合わせることで音楽の楽しさを感じてほしいという願いから企画しました。

まず驚いたのは、先生方が熱心なのか選考会で演奏する子供たちのレベルの高さでした。それは回数を重ねる今でも同様に演奏して驚かせてくれます。

また毎回、演奏終了後の子供たちの充実した顔を見るのも私たちの喜びです。

このコンサートから巣立った子供たちもすっかり大人になり、それぞれの道で活躍しておられると聞きます。

ピアノを続けている人は勿論、事情でピアノを止めた子、それぞれの道があると思いますが、少なくともピアノを止めたから音楽と

は縁が切れたというのではなく、音楽を好きでいて欲しいと願っています。弘中さんとのデュオコンサートが楽しいと感じてくれた皆さんだから。そして豊かな人生を歩むベースに音楽はあるのですから。

さて20周年記念公演として今日はその弘中孝さんが主宰するピアノ五重奏団「桐五重奏団」のコンサートです。

この「桐」というのは5人の皆さんが桐朋学園大学の出身者であり、故斉藤秀雄先生（サイトウ キネン オーケストラの斉藤先生）が5名のメンバーを集めてネーミングされたと聞いています。

1974年に結成された当時のメンバーはP弘中 孝・1 Vn久保陽子・2 Vn永田邦子・VI店村真積・Vc藤原真理でしたが、2 Vnが永田邦子から恵藤久美子を経て現在の中村静香となり、Vcが藤原真理から安田謙一郎を経て毛利伯郎となり、現在のメンバーとして27年目に当たります。（桐五重奏団としては42年目）

20周年記念公演のプログラムはお子様からお年寄りまでお楽しみいただけるような曲目を演奏していただきます。

今回は五重奏曲の演奏ばかりではなく、それぞれがその楽器の名手でありますので、それぞれの楽器の音を楽しみ、そして最後に息のあったアンサンブルをお楽しみいただきます。特別バージョンを用意していただきました。

日本を代表する演奏家の豊かな音楽と華麗なテクニックをごゆっくりお楽しみいただければ幸いです。

元（公社）大阪フィルハーモニー交響楽団 事務局長

元（公社）日本演奏連盟事務局長

前（公財）札幌交響楽団事務局長

現（一財）長野県伊那文化会館館長

プロフィール

弘中 孝（ピアノ）

6歳からピアノを始める。桐朋学園に学び、1961年第30回日本音楽コンクール第1位、特賞並びに安宅賞受賞。その後ヴァン・クライヴァーン国際コンクール入賞。シフラ国際コンクール第1位。ロン＝ティボー国際コンクール第4位入賞。1963年からフルブライト給費留学生としてジュリアード音楽院に留学。

1966年から1969年までマルセイユ音楽院に留学。1969年より本格的な演奏活動に入る。国内外のオーケストラとの共演を始め、リサイタルや室内楽の分野でも活躍。1974年に結成した桐五重奏団をはじめ内外のコンクールの審査員、音楽祭のディレクター等多彩な活躍を続け、2013年まで東京音楽大学の教授として後進の指導にあたる。また多くのCDをリリースし、各方面から高い評価を得ている。

久保 陽子（ヴァイオリン）

1962年桐朋女子高音楽科卒業。同年18歳にてチャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。1963年よりフランス給費留学生としてパリに留学。1966年マルセイユ音楽院ディプロマコースを卒業。同時に名誉市民のメダルを授与される。1964年バガニー国際コンクール第2位。1965年ロン＝ティボー国際コンクール第2位。クルチ国際コンクール第1位。その後世界的演奏活動を始め、ソリストとして国内外のオーケストラとの共演をはじめ、弘中孝と共に桐五重奏団、久保陽子トリオ、ジャパン・ストリングス・カテットを主宰するなど室内楽分野でも活躍。2011年まで東京音楽大学で後進の指導にあたる他各地の音楽祭などでも活躍。これまで多くのCDをリリース。いずれも高い評価を得ている。

中村 静香（ヴァイオリン）

桐朋学園大学卒業後、文化庁芸術家海外派遣研修員としてジュリアード音楽院に留学。第52回日本音楽コンクール第1位及び増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞受賞。第29回海外派遣コンクール特別表彰。これまでNHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団など各オーケストラと共演。また2年に一度開くリサイタルでは、ヴァイオリンとヴィオラの両方を取り組み、意欲的なプログラムを展開している。これまで2枚のCDもリリースし高い評価を得ている。現在水戸室内管弦楽団、松本のセイジ・オザワオーケストラのメンバーとして活躍。又東京音楽大学準教授。フェリス女学院大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。



店村 真積（ヴィオラ）

6歳よりヴァイオリンを始める。学生音楽コンクール、日本音楽コンクール等の受賞歴を重ね桐朋学園大学を経て、イタリアに渡る。その後、指揮者R. ムーティ氏に認められ、フィレンツェ市立歌劇場の首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーブ国際音楽コンクール、ヴィオラ部門第2位入賞。ヨーロッパ各地でソリスト及び室内楽奏者として活躍。帰国後もソリストとして多くのオーケストラと共演。水戸室内管弦楽団、松本のセイジ・オザワオーケストラのメンバーであると同時に日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開。CDも数多くリリースしている。読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者、NHK交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者を歴任。現在東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者、京都市交響楽団首席ソロヴィオラ奏者、東邦学園大学非常勤講師、東京音楽大学教授。

毛利 伯郎（チェロ）

10歳よりチェロを始める。桐朋学園からジュリアード音楽院に留学。ジュリアード音楽院在学中より、ニューヨークを中心として演奏活動を開始。ワシントンD.C.ケネディセンターの「シアター・チェンバー・プレイヤーズ」のメンバーとして、また「シークリフ・チェンバー・プレイヤーズ」、「カンテレナ・ピアノカルテット」などの数多くのグループのメンバーとして、コンサートやレコーディングなどの多彩な活動をする傍ら、欧米各地の音楽祭に数多く出演。

ニューヨーク、フィラデルフィア、インディアナの各地で後進の指導にも意欲的に当たる。1985年帰国後、読売日本交響楽団ソロチェリストに就任。「東京ピアノ・トリオ」、「ATMアンサンブル」、「水戸カルテット」、「ナーダ」、その他多くのシリーズのメンバー、ゲストとして出演、好評を博す。桐朋学園大学教授として後進の指導にも当たっている。

開館20周年記念事業

猪俣猛Jazzカルテット with 西脇高校吹奏楽部

実行委員 村上正夫

皆様、いつもアピカホールにお越し頂き本当に有り難うございます。

早いもので、「聴く人と奏でる人がともに“音楽”をつくりあげるコンサートホール」をコンセプトに開館して今年、20周年を迎えます。この20年、実行委員としてホールの運営にかかわり、多くの市民の皆様をはじめ近隣市町の方々に喜んで頂けたのではないかと自負しております。

皆様から頂いたアンケートには様々なジャンルの希望の中に、ジャズの要望も多くあり、その当時は近隣のホールでの取組みがなかった頃だったので、私の多くのジャズメンバーとの交流の中からジャズコンサートが生まれました。企画に当たっては少しでも要望に応えられる様に努力はして来ましたが、限られた予算の中での取組みになりますので実行出来なかった事業もあったと思います。これからも市民の方々に喜ばれる企画をホールと共に考えて行きますので宜しくお願いします。

また、アピカホールの企画、運営に当たってはホールの実行委員、ボランティアスタッフの方達の協力がなければ20周年を迎えられなかったといっても、過言ではありません。実行委員、ボランティアの方達は、ホールにとって大きな推進力でありました。そしてアピカホールの様々な企画と、その実現に当たっては多方面にわたる人と人との繋がりという財産があったからだと思います。これからも大事にしていかなければなりません。

今回のJazzコンサート“猪俣猛Jazzカルテットwith西脇高校吹奏楽部”について少しお話をさせていただきます。この企画は、元館長の宮下紘一郎氏はじめ多くの方々の尽力により実現しました。氏は以前、西脇南中学校でブラスバンドの指導をされていた時に、猪俣猛

さんとの交流がはじまり、今回の企画実現の運びとなりました。また、西脇高等学校吹奏楽部の指導をされている本荘隆平先生と猪俣猛さんのお二人が心良く指導して下さいることになり実現しました。西脇高等学校吹奏楽部は、2013年から2015年にかけて吹奏楽コンクール高校の部の金賞を受賞されております。生徒たちにとってはプロの演奏家に指導して頂くことは大変貴重な体験だと思えます。この経験は、生徒たちにとって、きっと大きな宝ものになるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、猪俣猛さんの紹介をさせていただきます。猪俣猛さんは14歳の時に1枚のSP盤を聞き、その演奏がベニーグッドマンオーケストラが、カーネギホールで出演した時の収録されたレコードで、メンバーのドラム奏者のジーンクルーバの演奏にしばれ、自分もいつかあのようなドラマーになってカーネギホールの舞台に立ってやるとの思いで努力されたそうです。その夢が1994年10月6日に念願のステージに立ち、実現されました。現在、猪俣猛さんは日本のジャズドラマーの重臣として活躍され、作曲家でもあるピアニストの前田憲男さんと共に全国で活躍されています。猪俣猛さんの持論は、「この頃の子供達は全てデジタル化されているように思う。人間関係がうまくつけれない様な気がする。アコースティックこそ本物だ」と熱く説かれ、「音楽はまずハートが大事、テクニックは後からつくものだ」と論されています。

さて、猪俣氏の指導を得、高校生がどんな演奏をしてくれるか猪俣カルテットと生徒たちのセッション、緊張感あふれる舞台が楽しみです。この機会に皆様もぜひホールでお楽しみください。

猪俣猛Jazzカルテット with 西脇高校吹奏楽部



猪俣 猛

いのまた たけし
(ドラムス)

オーボエ奏者の父を持ち、恵まれた音楽環境で育つ。16歳でデビューし、20歳で上京。21歳でスイングジャーナル誌の新人賞に輝き、「渡辺晋とシックス・ジョーズ」を経て、名門「西條孝之介とウエストライナーズ」に参加し、後にリーダーとなって名声を轟かせる。前田憲男、荒川康男とのコンビもこの時期に生まれ、名実ともに日本を代表するトリオとして現在に至る。

(株)アール・シー・シー代表取締役、NHK文化センター『猪俣猛ドラム教室』監修、ヤマハ契約モニター、ジルジャン契約モニター、ヴィックファース契約モニターを務める。

近 秀樹

こん ひでき
(ピアノ)

1954年2月13日、札幌生まれ。

大阪芸術大学在学中から関西のライブハウスを中心に活動を開始。

80~85年に大阪「ロイヤルホース」のバンドリーダーを勤めた後、自己のトリオを結成しての活動に移り、80年代半ばから、北村英治、松本英彦、デジー・ガレスビー、パディー・デフランコなど、国内外の著名ミュージシャンとの競演で腕を磨く。

現在、大阪芸術大学演奏学科 ポピュラー音楽コース教授



光岡 尚紀

みつおか なおき
(ベース)

1981年10月17日生まれ。大阪府出身。

14歳の時に兄の影響によりエレキベースをはじめ。その後2003年より本格的に音楽の勉強をはじめ、2004年からウッドベースを始める。

参加アルバムは

今西佑介セクステット

「Crisp」、「WAYFARER」、

「Weather」、「METEOROLOGY」

中山瞳トリオ「Perdido」

生島大輔バンドネオンユニット「Pensées」

右近 茂

うこん しげる
(テナーサクソフクラリネット)

1963年神戸市生まれ。

幼い頃見た古いハリウッドのジャズ映画などに魅せられ、ジャズメンの道を目指す。

上京後、都会的でオーソドックスにスイングするテナーマンとして注目を集め、世良譲(Pf)、北村英治(C1)、藤家虹二(C1)、猪俣猛(Ds)ら大御所のミュージシャンとの多くの共演でキャリアを積む。

偉大なジャズ・スタンダードを小粋に、スイングに良い音で演奏してゆくことをモットーにしており、現代的な感覚とトラディショナルなイデオロムがハイレベルで融合したテナーマンである。





ニューイヤークンサートの起源と変遷(第1回)

クラシックの世界で、世界最大のイベントといえば、それは当然、毎年元旦に行われるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団による「ニューイヤークンサート」を措いては他に存在しないでしょう。何しろこのコンサートは、世界46ヶ国に衛星生中継されているというとんでもないスケールを誇っています。

このような大きなイベントに成長してきた「ニューイヤークンサート」、それではこのコンサートは、一体、いつ始まったのでしょうか、そしてまた、だれが始めたのでしょうか。このことは、案外知られていないかもしれませんね。実は、最近、知り合いの若手ピアニスト(オーストリアのグラーツ音楽大学に留学中)からこのことに関する質問を受け、世間ではそれほど知られていないことに気が付きましたので、今回、お話しすることにしました。

ことの始まりは、第2次世界大戦中の1939年にさかのぼります。オーストリアはナチス・ドイツに併合され、オーストリアの名前自体が存在しないという苦しい状況でした。暗く沈んだウィーンのひとたちの心を少しでも明るくし元気づけようとウィーン出身の名指揮者クレメンス・クラウス(1893~1954)は、1939年の12月31日にシュトラウス一家のワルツやポルカだけを演奏するコンサートを開きました。これが「ニューイヤークンサート」の始まりです。大晦日に行われたので、ニューイヤークンサートというよりはジルヴェスター(大晦日)コンサートというほうがより正確でしょうが。

2回目は、1941年の1月1日に行われ、以後今日まで1月1日に定着しています。

クラウスは、1954年に死ぬまで、計12回指揮をとり(1945年は中止、1946年と1947年は、クラウスが連合軍による2年間の指揮禁止命令をうけていたため、代わってヨーゼフ・クリップスが指揮をとりました)、「ニューイヤークンサート」をウィーンの特別の催しとしたのでした。

クラウスの演奏はCDに復刻されていて現在でも聴くことができます。クラウスとウィーン・フィルとのコンビによるシュトラウス一家の作品を集めた有名な録音(デッカによる1950年頃のスタジオ録音)も残っています。私は、幸い、それに加えて1929年、1930年、1940年に録音されたSPレコードからのCD復刻盤という貴重品も入手しています。

これらの録音を聴くと、演奏がとても優雅で宮廷風の上品な雰囲気あたり一面に漂ってくるかのようです。それもそのはず、クラウスはハプスブルク家の血を引く人なのです。ハプスブルク家の最後の皇帝であったフランツ・ヨーゼフの弟、ヨーハン・サルヴァドール公が彼の父親です(父親については異説もあり)。ただし、正式の子供ではなく、大公と女優のクレメンティヌ・クラウスの間にできた私生児でした。写真で見るクラウスの風貌は、まさに貴族そのもので、気品と威厳のある顔立ちには、男である私でさえもほれほれとしてみまいます。

ところで、シュトラウスは、ユダヤ人の血を引く家系であるということをご存知だったでしょうか。(註)ユダヤ人の家系であるシュトラウスの作品を演奏することをヒトラーは何故許したのでしょうか。一つには、ヒトラー自身がシュトラウスの作品が好きであったこと、もう一つは、シュトラウスの作品を演

奏禁止にしてしまえば、どれほど民衆の反発をくらくわからぬという配慮もあったことでしょう。

1954年にクラウスが死んだあと、「ニューイヤークンサート」はその当時のコンサートマスターであったヴィリ・ボスコフスキー(1909~1991)が引き継ぐことになりました。彼は、シュトラウス自身が行っていた演奏スタイル(指揮台の上でヴァイオリンを弾きながら指揮をする)を踏襲して、ウィーン市民からたいへんな人気を博しました。彼は、1955年から1979年に至る実に25年もの間、このコンサートを振り続けたのでした(このコンビによるシュトラウス一家のコンサートは我が国でも1959年と1969年の2回行われています。1959年のコンサートは、NHKの第1放送で実況中継され、小学生だった私は途中まで聴くことができました。どうして途中までかという、クラシックに興味のない父が、もうそろそろ寝ようと言ってスイッチを切ってしまったからです。そのときのどうしようもなく残念な気持ちは今でも鮮明に残っています)。

彼の演奏は、宮廷風の優雅な雰囲気クラウスと比べると、ぐっと庶民的で小振りなものになっています。しかし、そこには一つ一つの音のすみずみにまでウィーンの色が染み込んでいるのが聴き取れます。ウィーン一般市民の喜び、悲しみ、人生の哀感がストレートに伝わってくるかのようです。正に、本場の人でなければ成し遂げることのできない唯一無二の演奏なのです。



オーダーシステムバスルーム
ユニットなのにサイズも内装材もパーツもすべて自由。
入浴の概念が変わります。

兵庫県西脇市高松町633-18
株式会社 藤田幸三商店
TEL(0795)23-5995代
FAX(0795)23-6564

1979年にボスコフスキーが退いたあと、「ニューイヤークンサート」は新たな局面をむかえます。

それまで、ウィーンのローカルな音楽をローカルな演奏家が行っていた催しが、一気に国際的なものに変貌してしまったのです。

1980年から6年間、ロリン・マゼールが指揮台に立ったのち、1987年のヘルベルト・フォン・カラヤンを皮切りにそれ以降は、同じ指揮者が2年続けて指揮することはなくなりました。スター指揮者たちが毎年毎年代わる代わる指揮台に立ち、しかもそれらが世界中に衛星生中継(生中継は、1980年から始まりました。)される——一見したところ、とてもおめでたい光景ですね。

しかし、はたして、これは良いことなのでしょうか、悪いことなのでしょうか。

私はどうかといえば、個人的には、残念ながら素直には喜べないのです。

何故か。

理由は、次回に申し述べましょう。

(註) 野村三郎『ウィーン・フィルハーモニー—その栄光と激動の日々—』

中央公論新社 319ページ

参考文献

クレメンス・ヘルスベルク『ニューイヤークンサートの歴史』(Web資料)
『ニューイヤークンサート』(Web資料「ウィキペディア」)

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鵜川 真

会議・セミナー・展示会・パーティ・同窓会 承ります

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索



8月の催し

8月13日(土)

ヴァイオリン ワークショップ

今年で4回目となる「ヴァイオリン・ワークショップ」を開催します。

楽譜が読めなくても、楽器をもっていなくても、ヴァイオリンに興味があれば誰でも参加できます。

本物の楽器に触れ、音に触れ、毎年たくさんの子供たち(北播磨地域在住の小学1年生~中学3年生 30名程度)が参加しています。

指導者は、アピカ・ジュニア・ストリングス講師の藤井允人先生、西山枝里先生、久保ふみ先生です。

7月24日(日)までに、申込書(HPからダウンロード可能)を提出してください。



8月20日(土)

第20回「リトルピアニストの大っきなコンサート」

開館当初に、アピカホールのスタインウェイピアノを広く皆さんに弾いていただきたい。

ホールのこの想いから始まったコンサートも、今回で20回目を迎えます。演奏するだけでなく、他の出演者の演奏を聴くマナーも身につけることも大きな狙いとして開催しています。

今、69組70名のリトルピアニスト達が夏休みの大っきなコンサートに向けて、一生懸命練習に励んでいます。ぜひ、アピカホールで夢いっぱいの子供達の演奏をお聴きください。

8月28日(日)

第6回「弘中 孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」

3年に1度開催しています、「弘中 孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」も今年で6回目を迎えます。

今回は、13人の子供たちが弘中先生と連弾をします。

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

豊かなフィールドで釣りが
できる喜びを大切に。



株式会社オーナーぱり

本社 / 〒677-0018 兵庫県西脇市富田町120
TEL.0795-22-1433(代) : FAX.0795-22-6003

西脇市立音楽ホールアピカホール開館20周年記念事業

アピカ・ミュージック・トレイン

みんなのホールコンサート)

出演者募集!



バンド/コーラス)



楽器演奏)



ダンス)

アピカホール開館20周年記念事業
アピカ・ミュージック・トレイン

とき 平成29年1月22日(日)

会場 西脇市立音楽ホール
「アピカホール」

入場料: 無料)

アピカホールの素敵な舞台に立ち、みんなと音楽でつながろう!の思いから、開館20周年記念事業「アピカ・ミュージック・トレイン」を開催します。音楽であれば、なんでもOKです。ぜひ、ご応募ください。

- 開催日 平成29年1月22日(日)
- 会場 西脇市立音楽ホール「アピカホール」
- 出演時間 1組15分以内(入退場を含む時間です。)
- 参加費 舞台出演の方 1組3,000円(出演決定後)(司会・スタッフの方は無料です。)
- ジャンル 不問(音楽であれば誰でも応募いただけます。)
- 応募資格 西脇市にゆかりのある方・西脇市を応援している方(1組1名以上該当者が含まれていること。)
①舞台出演……ステージに出演していただきます。
②司会(複数名)……コンサートの司会進行(経験不問)
③スタッフ……受付・カウンター・裏方など
- 応募方法 応募用紙にご記入の上、持参・郵送またはFAXでお送りください。参加費は、「説明会」にご持参ください。
- 申込締切 平成28年8月21日(日) 必着
- 説明会 平成28年9月4日(日) 予定
- その他 ・申込み者多数の場合は実行委員会で選考し後日お知らせします。
・演技に必要な音源や楽器等は各自でご用意ください。
・照明や舞台道具などでご希望に添えない場合もあります。
・「説明会」を9月4日(日)に行う予定ですので、必ず出演者本人(グループの場合は代表者等)がご参加ください。
・リハーサルは平成29年1月21日(土)に行います。
- 問合せ 〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991 西脇市立音楽ホール「アピカホール」まで
☎0795-23-9000 Fax0795-23-9031

毎月曜夜に放映の「BS日本こころの歌」を楽しみにしています。音大出身のコーラスグループ「フォレスト」の合唱とピアノ伴奏からなる番組です。文部省唱歌、童謡、歌謡曲、軍歌にJポップス、さらには民謡にいたるまで、幅広く歌っています。直立不動で原曲に忠実に歌っている姿は、シニア世代の私にとって心安らぐひとときです。

多くの歌を聴くなかで、フランス文学者で詩人の西条八十が作詩した作品が心に残ります。童謡の「かなりや」や「肩たたき」は幼い頃を思いおこし、歌謡曲

「誰か故郷を想わざる一では、望郷の念をかきたてられる気分になります。戦後流行った「青い山脈」は、当時の人々に希望と快活さを与えており、今でも色あせていません。八十は敏感なアンテナの持ち主といえます。時代の風や自然の移ろい、人の声などをうまく採りいれています。

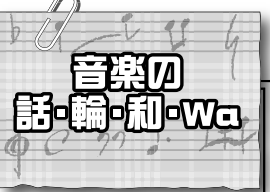
今春、大本山妙心寺塔頭のひとつで、庭園が美しい退蔵院を訪れました。帰りに墨で書かれた西条八十の詩が、目に飛び込んできました。感銘を受けて、思わず写真におさめました。「我ら楽しくここに眠る／はなれ離れに生まれ／めぐりあい／短き時を愛に生きし二人／悲しく別れたけれど／今ここに／このころとなりて／永遠に／寄り添い眠る 西条八十」。

八十の人生を知りたくなり、長男・八束著『父・西条八十の横顔』を読みました。「西条八十夫人と言えば聞こえがよいが、母の生涯は苦勞の連続であった」と。女性関係で心勞をかけたいた記載もあります。退蔵院で感動した夫婦愛の詩は、八十が妻に先立たれたあと著した『亡妻の記』の「亡妻頌」にあります。八十は「芸術は泥沼に咲く蓮の花なんだよ」と孫に口癖のように言っていました。傑出した作品の舞台裏を、のぞいてしま

った複雑な気持ちになりました。

編集後記

アピカホール開館20周年を迎えています。夏休みに、西脇高校吹奏楽部とジャズ演奏家と共演があります。子供たちの腕も、演奏家と一緒に舞台を踏むことで、ぐーんとレベルアップしていくことでしょう。(ジャズドラマーの猪俣猛さんを迎えてご指導頂きます) ジャズはアドリブ、即興演奏するところに、醍醐味があるので、楽しいですね。さあ、どんなステージになるのかな(^-^)/。(Green)



音楽の話・輪・和・Wa
芸術は泥沼に咲く蓮の花
 依藤 孝

第10回企画展
「堤 展子-生きもの・やきもの・かわりもの」展
 7月10日(日)~11月13日(日)

国際的に活躍する陶芸家、堤 展子の想像上のキャラクター、山椒魚等のリアルな生きものをモチーフにした作品を紹介し、独自の陶芸の魅力に迫ります。



「堤 展子-生きもの・やきもの・かわりもの」展ポスター

開館時間 午前10時~午後5時(入館午後4時30分まで)
 入館料 大人310円(260円)、高・大学生210円(160円)、小・中学生110円(80円)<ココロカード可>
 ※()内20名以上団体割引料金
 ※障がい者割引有
 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
 ※8月休館日なし
 ※ワークショップ
 「ここで焼くよ!堤展子のワクワク♥楽焼体験!」
 10月9日(日) 午後1時30分から3時30分
 雨天の場合 10月16日(日) ※要予約



●アトリエ個展シリーズ

- VOL.1 ●木澤 平通展 絵画 7月12日(火)~31日(日)
- VOL.2 ●足立 進展 絵画 8月1日(月)~21日(日)
- VOL.3 ●中山トモ子展 絵画 8月22日(月)~9月11日(日)
- VOL.4 ●アンドレイ・ヴェルホフツェフ展 絵画 9月13日(火)~10月2日(日)
- VOL.5 ●三沢かずこ展 絵画 10月4日(火)~23日(日)
- VOL.6 ●藤井のぶお展 絵画 10月25日(火)~11月13日(日)

※アトリエシリーズは入館無料
 ※各会期の最終日は展示替えの為、午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
 ホームページにも掲載しています。是非ご覧ください。
 ブログ「美術館日記」もご訪問ください。
 ※9月19日(祝・月) 敬老の日65才以上無料
 ※11月5日(土)、6日(日) 関西文化の日無料開放



西脇市民会館
 TEL.0795-22-5715
 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

きて☆みて☆きいて!
第18回「あなたが主演フェスティバル」



開催日時 と き 平成28年7月17日(日) 9:30~16:00
ところ 市民会館 全館
内容 「ステージ発表」「NSKのど自慢」(入場無料)
 「100金遊び市」(1回100円)「手づくり趣味の市」(展示販売)

アピカホール

催しガイド

7月～10月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
7/17(日)	きて☆みて☆きいて! 第18回「あなたが主役フェスティバル」	会場：西協市民会館 9：30～16：00	大・中ホール 無料 その他 有料	市民企画委員会 <small>（NPO）</small> 西協市民会館 ☎0795-22-5715	P11
7/23(土)	開館20周年記念事業 第134回 しばざくらコンサート 「桐五重奏団」	16：00～ (15：30開場)	一般 3,000円 大人ペア 5,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2
8/13(土)	ヴァイオリン・ワークショップ	未定	参加費 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
8/20(土)	第20回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	午前の部 10：00～ 午後の部 13：00～	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
8/21(日)	開館20周年記念事業 第135回 しばざくらコンサート 「猪俣猛Jazzカルテット with 西協高校吹奏楽部」	14：00～ (13：30開場)	一般 3,500円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4
8/28(日)	第6回 「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」	14：00～ (13：30開場)	前売券 1,000円 当日券 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。

交通アクセス

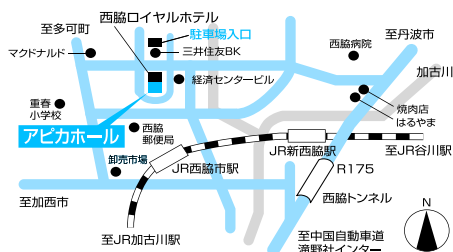
<バス>中国ハイウェイバス西協営業所行き
「西協」下車すぐ。

三ノ宮～西協線(神姫)「西協」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西協市駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

※アピカホール主催の有料公演のみ、アピカ地下
駐車場 3時間無料サービスの手続きをします。



■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西協市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんには
(エスぺラント語)

〒677-0015 兵庫県西協市西協991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2016年6月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。